Heart of Electronics

≪2013年3月期　第2四半期≫

決　算　説　明　会

2012年11月7日

エレマテック株式会社

東京証券取引所　市場1部　　CODE：2715

URL：http://www.elematec.com

IR問い合わせ先　：　企画財務・IRグループ　　E-mail: ir@elematec.com　　TEL: 03-3454-3526

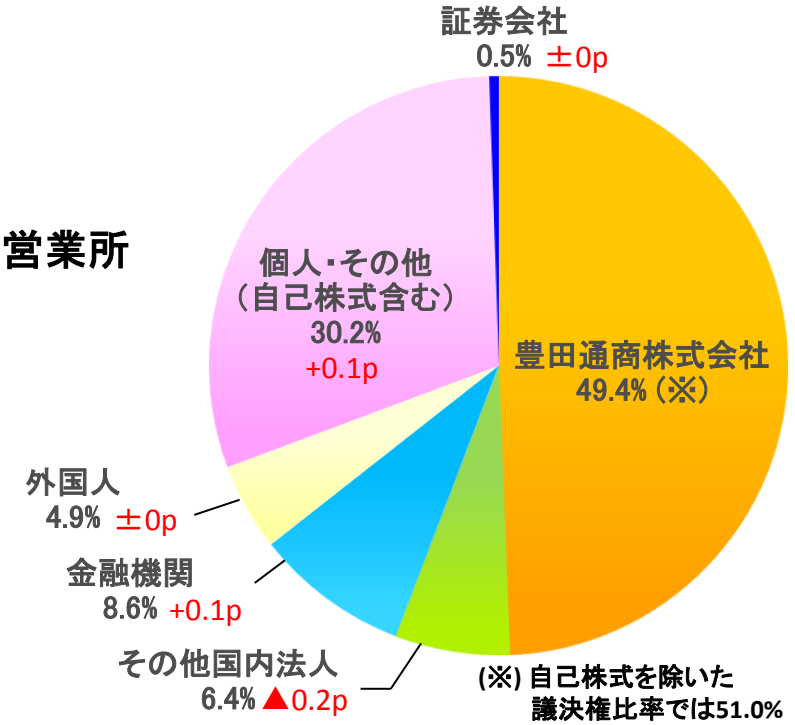
本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2012年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

会 社 概 要

商　　号	エレマテック株式会社 （英訳名　Elematec Corporation）
設　　立	昭和22年4月 （創立　昭和 20年11月）
上　　場	東証1部 平成17年3月（東証2部：平成15年12月、JASDAQ：平成14年6月）
所 在 地	東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館25階
代 表 者	代表取締役会長　櫻井（さくらい）　恵（さとし）
事業内容	エレクトロニクス専門商社
従 業 員	【連結】1,100名 【単体】352名
営業拠点	【国内販売拠点20ヶ所】本社・本店・16支店・2営業所 【海外販売拠点32ヶ所】 中国 17拠点、その他アジア 12拠点、 米国　2拠点、欧州 1拠点
資 本 金	2,142百万円
発行済株式数	21,152千株 ： 1単元100株
株 主 数	4,781名

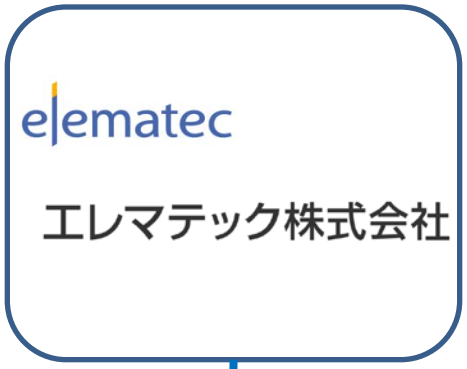
※上記の各データは2012年9月30日現在

所有者分布状況（2012年9月30日現在）



赤文字は、12/3末比の数字

エレマテックグループ概要



加工・物流委託

商　品

加工委託

加工委託

◆ 国内子会社（1社）

	設立	資本金	出資比率
エレマテックロジサーブ株式会社	1979.4	10百万円	100%

◆ 海外販売会社（17社）

依摩泰貿易（大連）有限公司	2002.4	1,655千人民元	100%
依摩泰（天津）国際貿易有限公司	2005.4	1,735千人民元	100%
依摩泰（青島）商貿有限公司	2010.12	3,339千人民元	100%
依摩泰（上海）国際貿易有限公司	2001.7	5,794千人民元	100%
依摩泰国際貿易（深圳）有限公司	2002.8	2,121千人民元	100%
依摩泰香港有限公司	1994.5	100千香港ﾄﾞﾙ	100%
Elematec Korea Co.,Ltd.	2004.3	490,000千韓国ｳｫﾝ	100%
台湾依摩泰股份有限公司	2000.9	3,000千台湾ﾄﾞﾙ	100%
Elematec Philippines,Inc.	2004.1	22,000千円	100%
ELEMATEC VIETNAM CO.,LTD	2008.11	8,493,500千ﾍﾞﾄﾅﾑﾄﾞﾝ	100%
Elematec(Thailand)Co.,Ltd.	2002.4	106,000千ﾀｲﾊﾞｰﾂ	100%
Elematec Malaysia Sdn. Bhd.	2012.1	2,400千ﾏﾚｰｼｱﾘﾝｷﾞｯﾄ	100%
Elematec Singapore(Pte.)Ltd.	1979.9	300千ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙﾄﾞﾙ	100%
PT. Elematec Indonesia	2011.4	700千USﾄﾞﾙ	100%
Elematec Trading India Private Limited	2010.3	36,320千ｲﾝﾄﾞﾙﾋﾟｰ	100%
Elematec Czech s.r.o.	2006.11	27,000千ﾁｪｺｺﾙﾅ	100%
Elematec USA Corporation	2006.8	450千USﾄﾞﾙ	100%

◆ 海外加工会社（4社）

依摩泰電子（大連）有限公司	2003.8	24,606千人民元	100%
無錫高千穂燦科技有限公司	2005.7	34,620千人民元	60%
蘇州高輪電子科技有限公司	2002.3	19,037千人民元	48%
高輪電子（深圳）有限公司	2011.2	2,301千人民元	48%

（2012年9月30日現在）

決　　算　　報　　告

2013年3月期　第2四半期累計期間

2013年3月期 第2四半期　連結業績のポイント

第2四半期累計期間では、過去最高の業績を更新。

☆連結売上高

前期比増収
　スマートフォン等の携帯電話関連部材及びアミューズメント関連部材の拡販等に注力
海外売上高続伸
連結売上高に占める割合は若干低下したものの、海外売上高は続伸
〈海外売上高及び比率の前期比較〉　12/3期第2Q：256億円（44.0%）⇒13/3期第2Q：272億円（42.6%）

☆売上総利益・営業利益・経常利益・当期純利益

売上総利益
　売上総利益率が若干低下したが、売上高の増加により増益
営業利益
　人員拡充及び中国での社会保険料の増加等により販管費が増加したが、売上総利益の増加により増益
経常利益
　営業利益の増加及び為替差損の縮小により増益
当期純利益
　投資有価証券評価損を計上したが、経常利益の増加により増益

☆配当

中間配当金1株あたりは15円を実施。（1株あたり年間配当金は40円を予定）

2013年3月期　連結損益計算書

単位：百万円	11/3期 第2四半期 累計期間	12/3期 第2四半期 累計期間	13/3期 第2四半期 累計期間	増減（12/3 vs. 13/3）	
				増減額	増減率
売上高	54,246	58,259	63,812	+5,553	+9.5%
売上総利益	5,966	6,073	6,433	+360	+5.9%
売上総利益率	11.0%	10.4%	10.1%	△0.3P	
販売管理費	3,797	3,875	4,144	+269	+7.0%
販管費比率	7.0%	6.7%	6.5%	△0.2P	
営業利益	2,168	2,197	2,289	+91	+4.1%
営業利益率	4.0%	3.8%	3.6%	△0.2P	
経常利益	1,890	2,080	2,203	+123	+5.9%
経常利益率	3.5%	3.6%	3.5%	△0.1P	
当期純利益	1,233	1,224	1,429	+205	+16.8%
当期純利益率	2.3%	2.1%	2.2%	+0.1P	

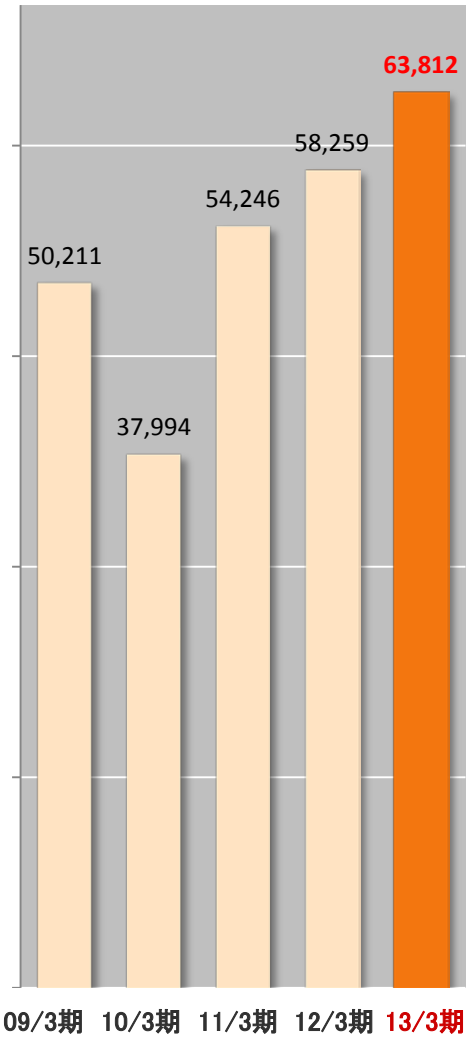
連結EPS	60円23銭	59円79銭	69円82銭
1株当たり配当金	15円	15円	15円

第２四半期連結累計期間業績の推移

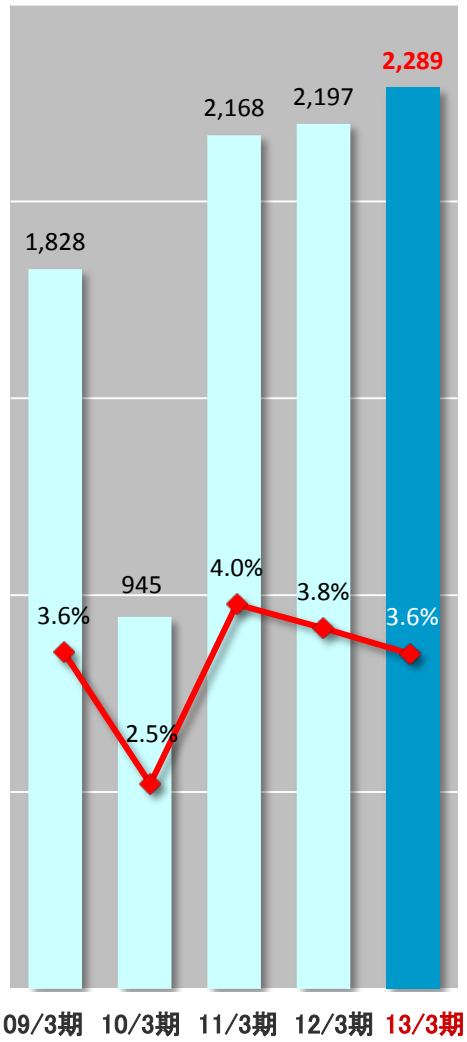
第2四半期累計期間では、過去最高の業績を更新。

単位：百万円

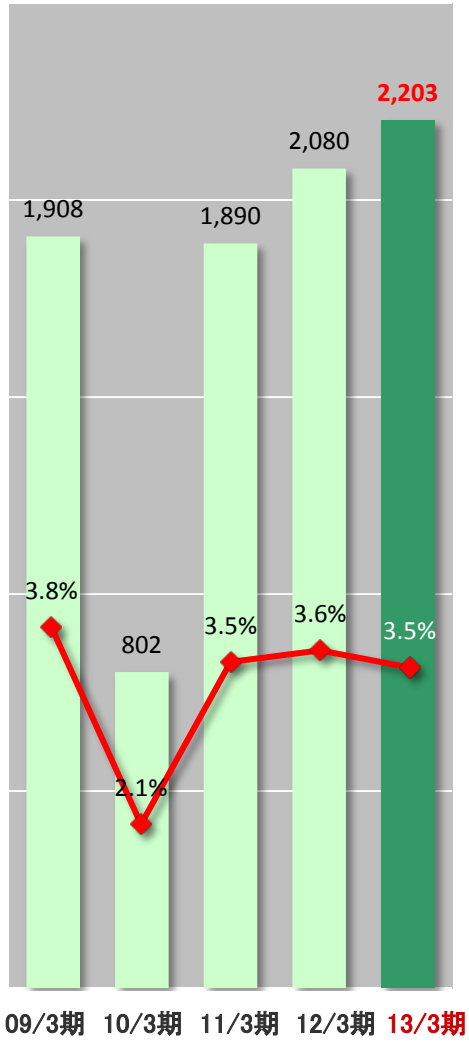
連結売上高　推移



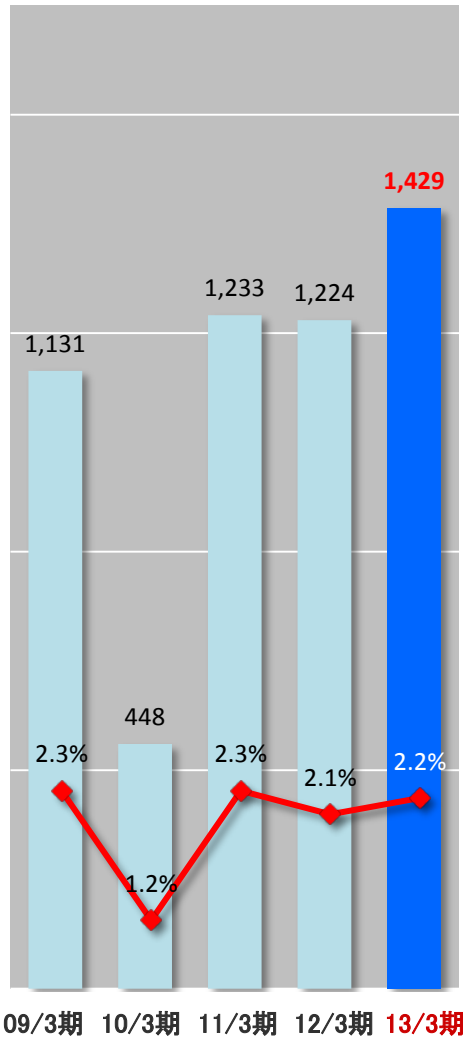
連結営業利益　推移



連結経常利益　推移



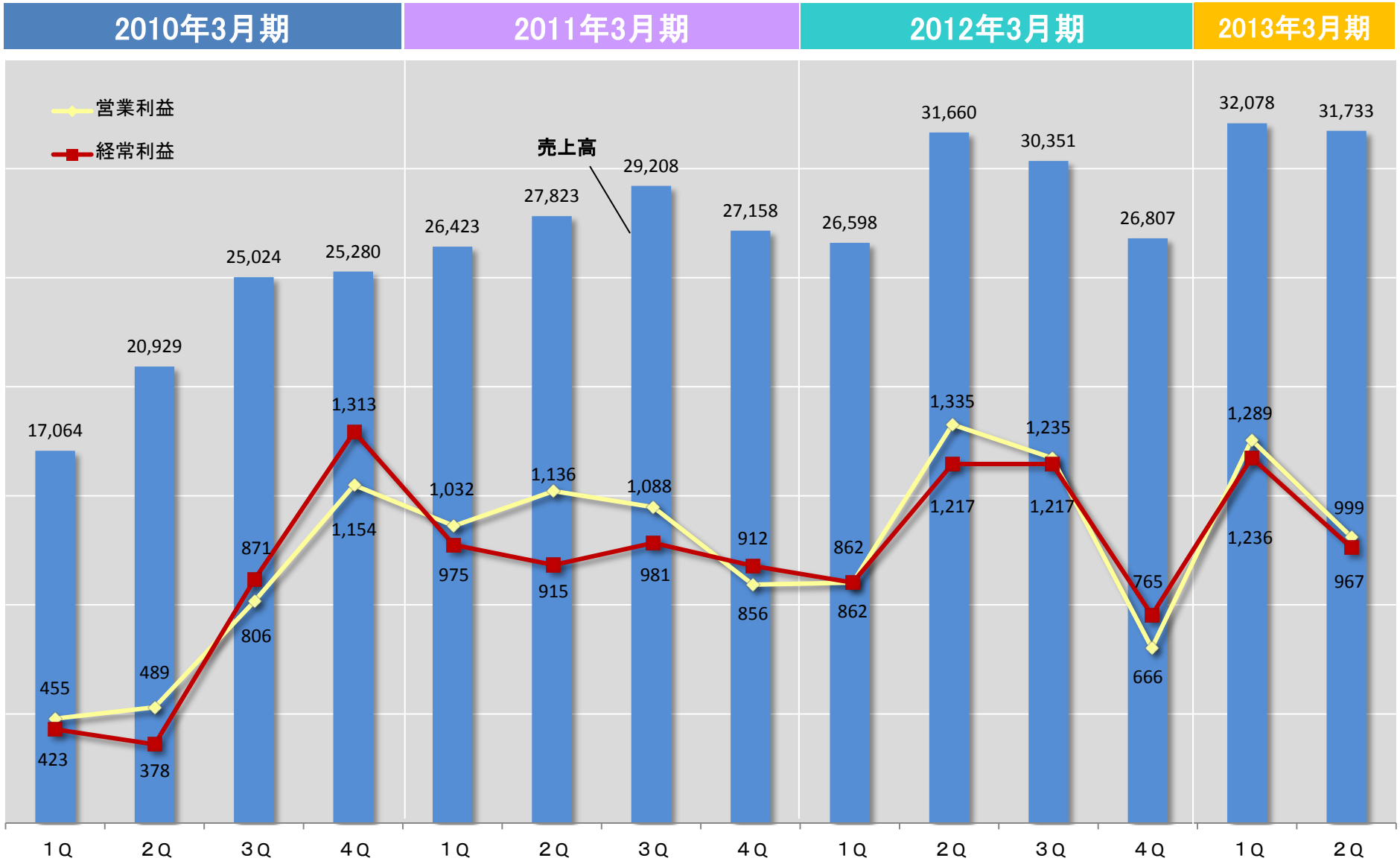
連結当期純利益　推移



四 半 期 毎 の 業 績 推 移

業績は計画を上回る水準で推移。

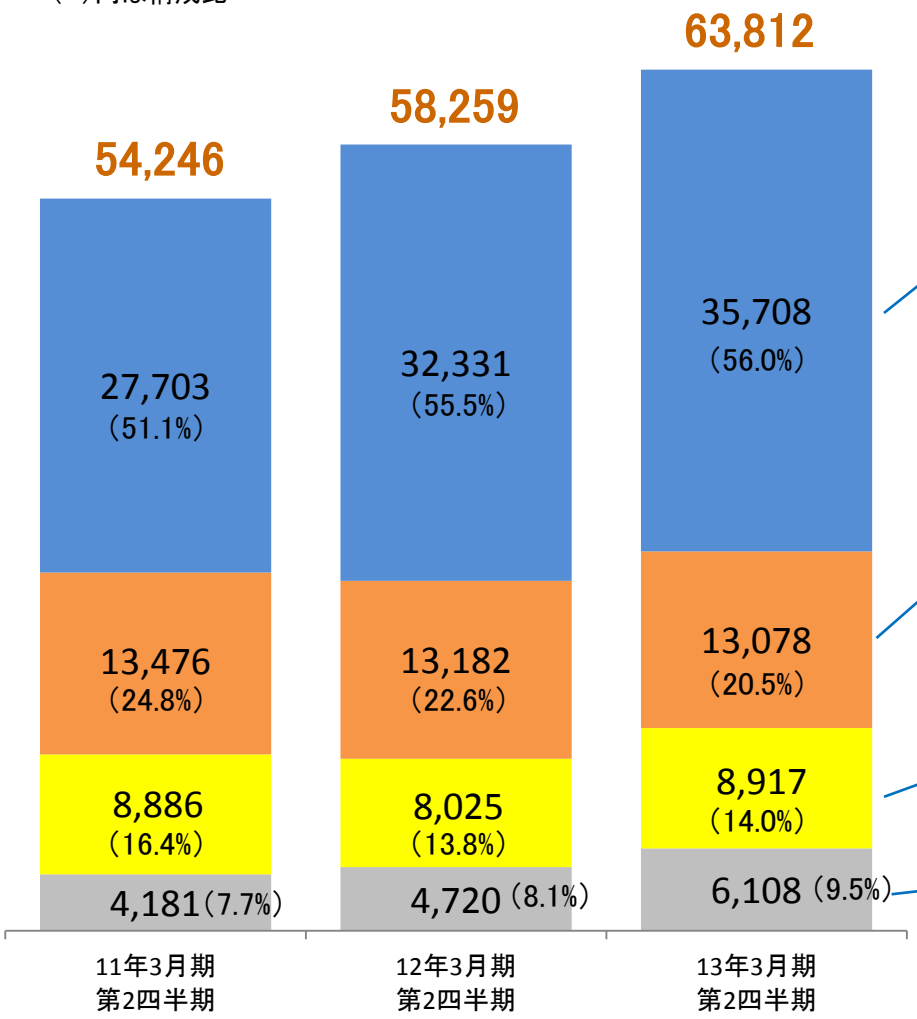
単位:百万円



品　目　別　売　上　高

スマートフォン等携帯電話及びアミューズメント関連部材の「ディスプレイ部品・材料」が増加。
また、製造設備等の販売が増加したことにより、「その他」が増加。

単位：百万円
（　）内は構成比



◆ 電気材料　　前年比　　＋ 3,377百万円
- 半導体関連　　△ 92百万円
- 絶縁材料　　△ 309百万円
- 配線材料　　＋ 785百万円
- ディスプレイ部品・材料　　＋ 2,993百万円

◆ 電子部品　　前年比　　△ 103百万円
- センサー部品　　＋ 83百万円
- 電気部品　　△ 208百万円
- 光学部品　　＋ 21百万円

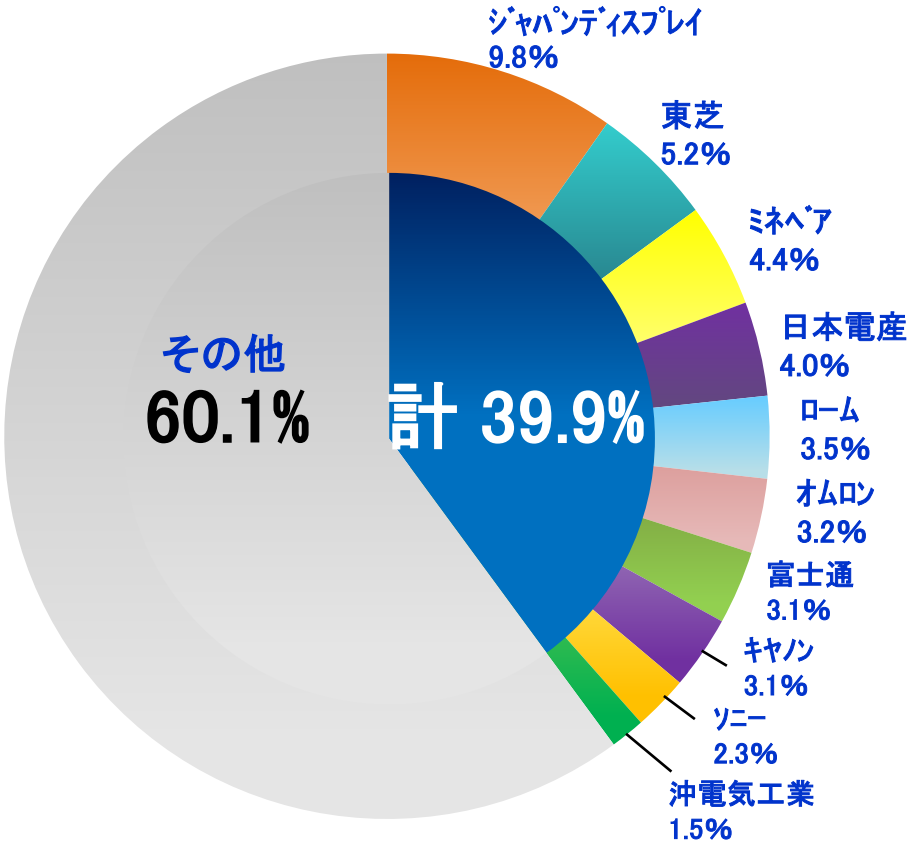
◆ 機構部品　　前年比　　＋ 891百万円

◆ その他　　前年比　　＋1,388百万円

主 要 顧 客 グ ル ー プ 別 売 上 高

「ジャパンディスプレイ」、「ミネベア」関連グループの売上高が大幅増加。

主要顧客（上位10社）グループへの売上構成比率とその内訳



主要顧客（上位10社）グループへの売上高推移

単位：百万円

	11/3期 2Q累計		12/3期 2Q累計		13/3期 2Q累計
ジャパンディスプレイ	2,497	↗	4,384	↗	6,227
東芝	3,554	↗	4,852	↘	3,300
ミネベア	76	↗	109	↗	2,801
日本電産	266	↗	1,860	↗	2,542
ローム	408	↗	1,954	↗	2,213
オムロン	2,475	↗	2,624	↘	2,010
富士通	1,295	↗	1,987	↘	1,983
キヤノン	2,518	↘	2,223	↘	1,978
ソニー	2,311	↘	2,111	↘	1,477
沖電気工業	124	↗	279	↗	928

（ ）内は前年同期比

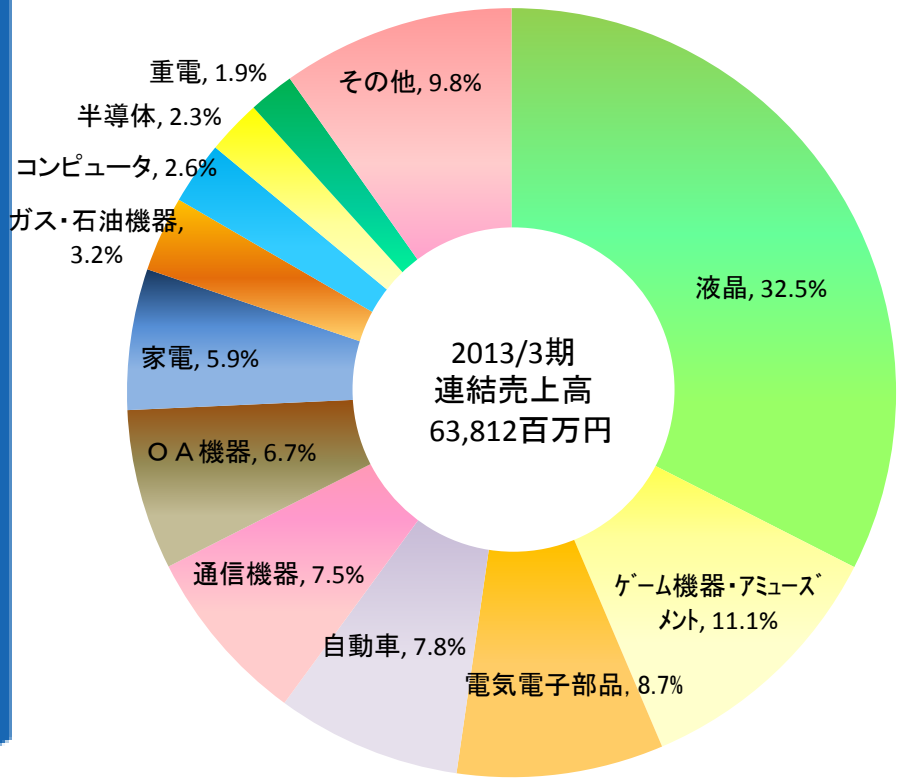
販 売 先 業 種 別 売 上 高

スマートフォン向けを中心とした「液晶等ディスプレイ」及び遊技機向けを中心とした「ゲーム機器・アミューズメント」が大幅増加。

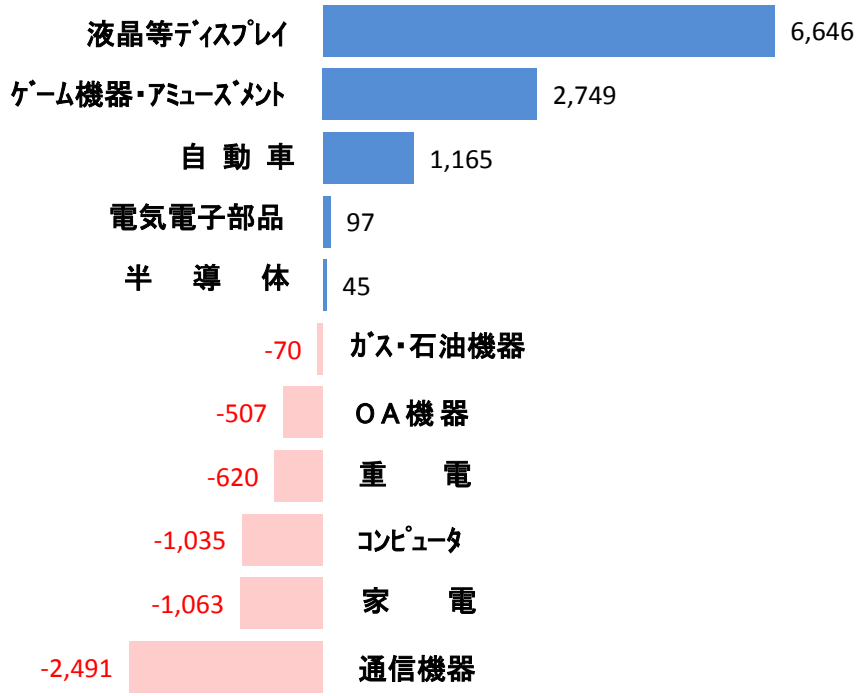
（単位：百万円）

液晶等ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ	ｹﾞｰﾑ機器・ｱﾐｭｰｽﾞﾒﾝﾄ	電気電子部品	自動車	通信機器	OA機器
20,733	7,086	5,545	4,958	4,771	4,302
家電	ガス・石油機器	コンピュータ	半導体	重電	そ の 他
3,779	2,019	1,685	1,460	1,227	6,242

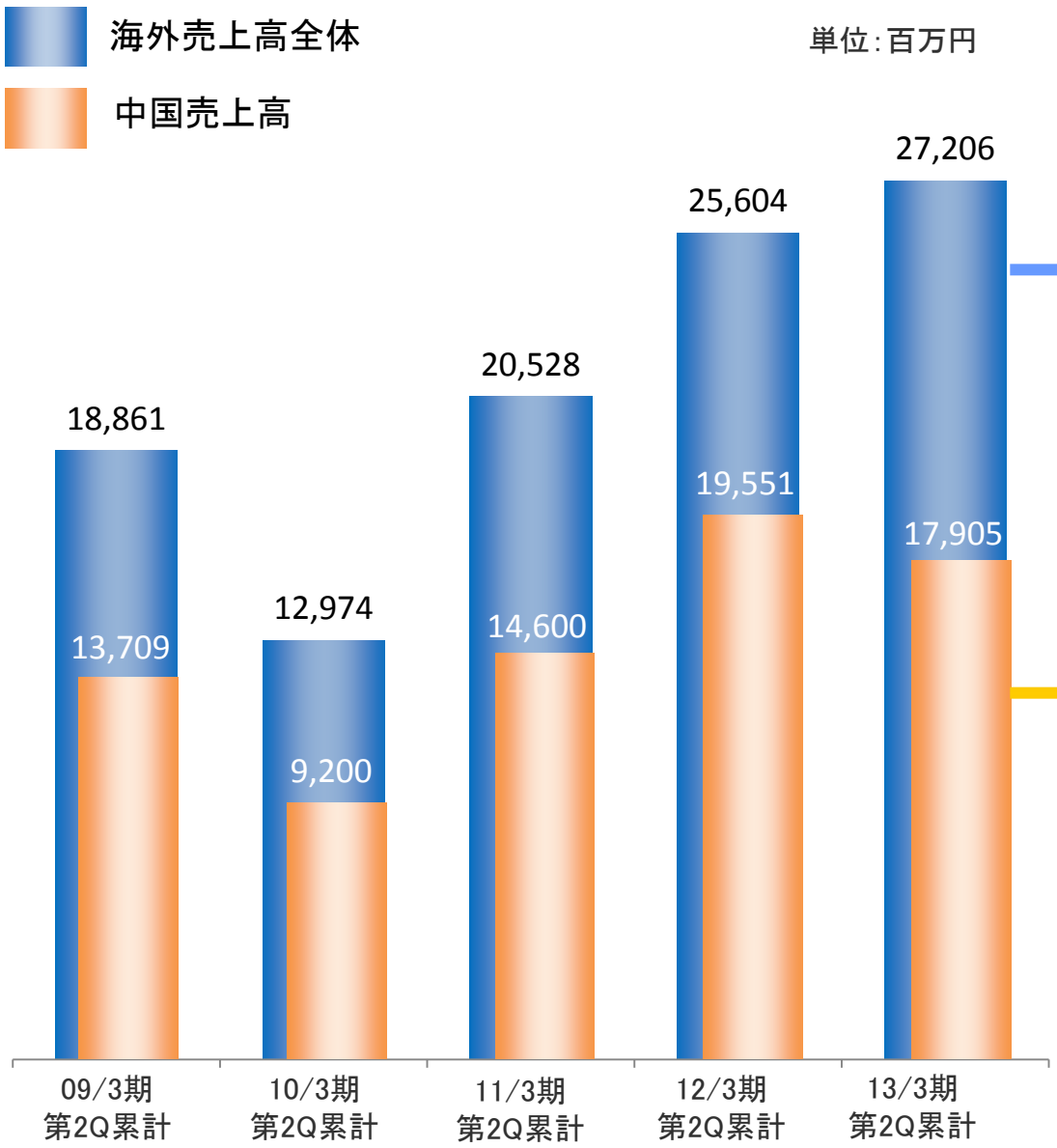
販 売 先 業 種 別　業 種 別 構 成 比



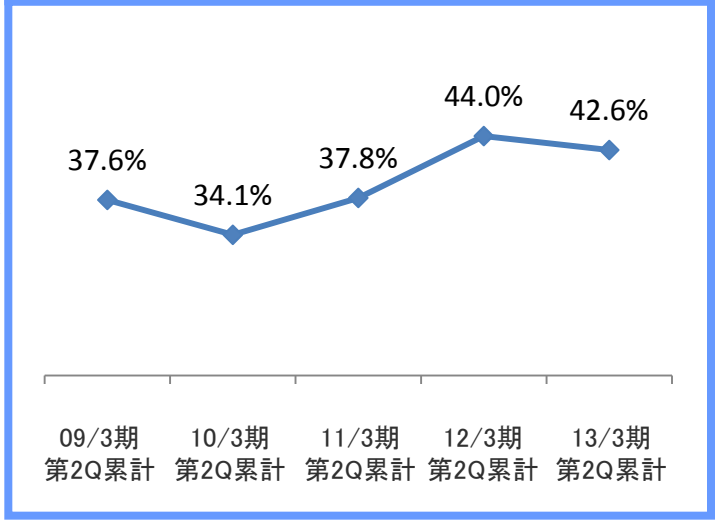
販 売 先 業 種 別　前 期 比 増 減 額



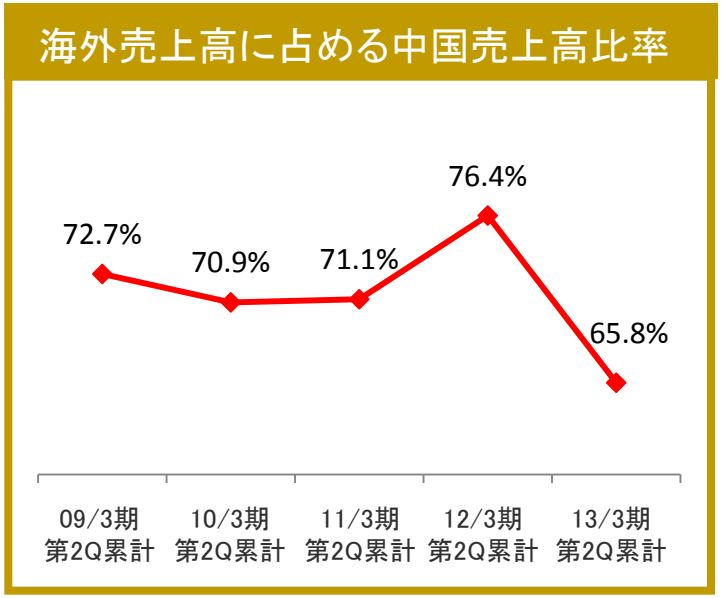
海 外 売 上 高 推 移



連結売上高に占める海外売上高比率



海外売上高に占める中国売上高比率



販 管 費 の 状 況

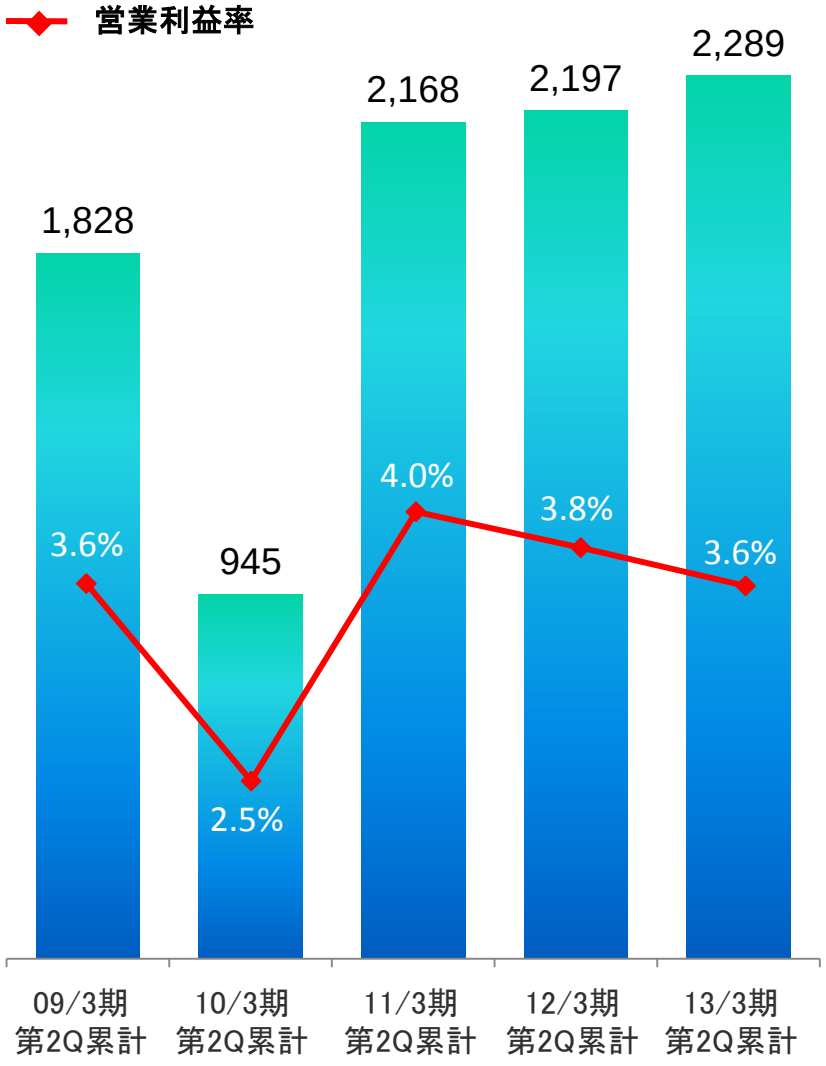
単位：百万円

	12/3期 第2Q累計	13/3期 第2Q累計	
販管費	3,875 （前期比+77）	4,144 （前期比+269）	売上高販管費比率　推移 12/3期 6.65% ⇒ 13/3期 6.50%
人件費	2,116 （前期比+62）	2,258 （前期比+142）	商社部門の人員増加及び中国での社会保険料が増加したこと等により、前年同期比で増加。
荷造運賃	463 （前期比△58）	522 （前期比+59）	売上高の増加に伴い、前年同期比で増加。
その他	1,295 （前期比+73）	1,364 （前期比+69）	海外売上高の伸長に伴い旅費交通費が増加したこと等により、前年同期比で増加。

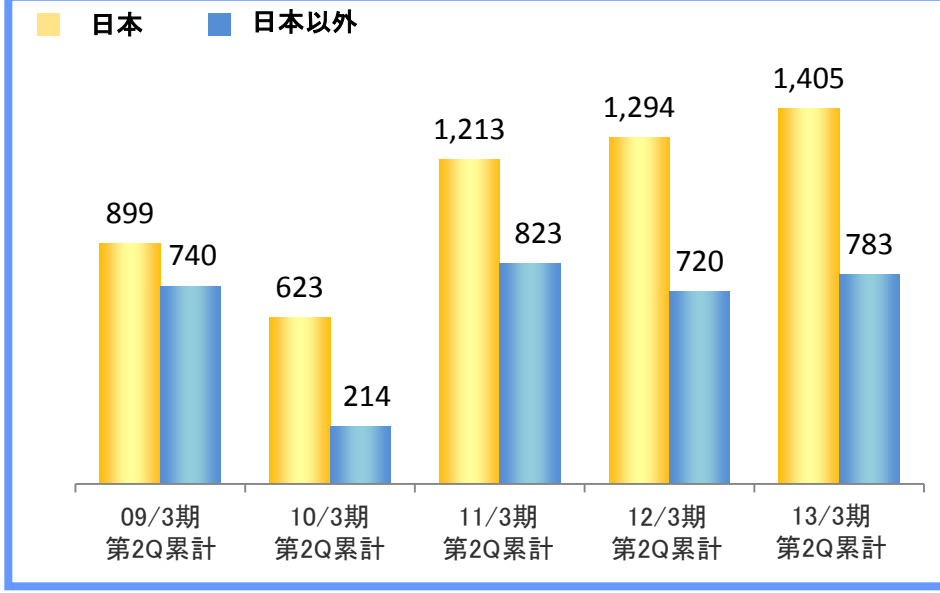
営 業 利 益 及 び 営 業 利 益 率

連結営業利益推移

単位：百万円

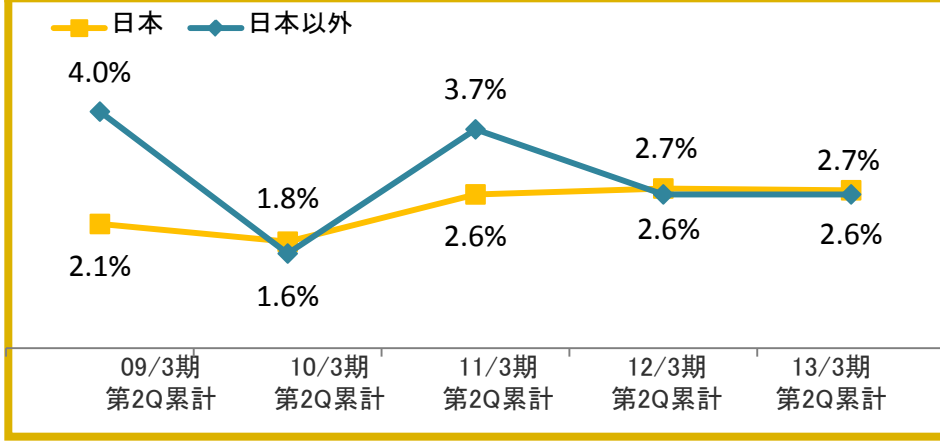


所在地別セグメント営業利益　推移



※上図は、『消去又は全社』前の数値であり、合計値と連結営業利益は一致しません。

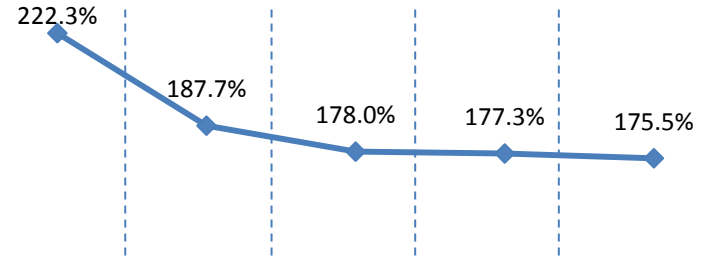
所在地別セグメント営業利益率　推移



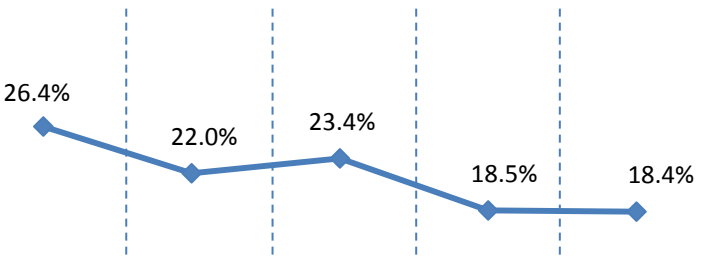
連　結　貸　借　対　照　表

（単位：百万円）	12/3期末 金額	13/3期 2Q 金額	増減額
流動資産	55,685	57,334	＋1,648
現預金	12,764	10,367	△ 2,397
受取手形・売掛金	35,667	40,195	＋4,528
たな卸資産	5,286	5,450	＋163
その他	1,966	1,322	△ 645
固定資産	5,410	5,477	＋67
有形固定資産	2,961	2,946	△ 15
無形固定資産	181	199	＋18
投資その他の資産合計	2,267	2,331	＋64
総資産	61,095	62,811	＋1,715
負債合計	31,652	32,846	＋1,193
流動負債	31,405	32,662	＋1,257
支払手形・買掛金	28,955	30,581	＋1,625
短期借入金	164	86	△ 78
その他	2,285	1,995	△ 290
固定負債	247	183	△ 63
純資産	29,443	29,965	＋521
株主資本	30,785	31,703	＋917
自己株式	△694	△694	±0
その他	31,479	32,397	917
その他の包括利益累計額合計	△1,531	△1,917	△385
少数株主持分	188	178	△ 9
負債純資産合計	61,095	62,811	1,716

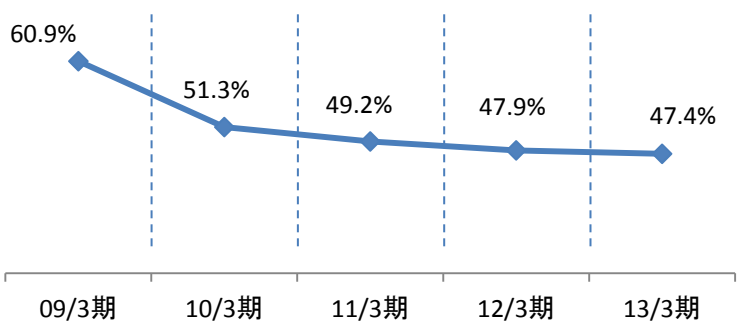
流動比率 ＝ 流動資産 ÷ 流動負債



固定比率 ＝ 固定資産 ÷ 自己資本



自己資本比率 ＝自己資本 ÷ 総資産



キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）	12/3期 第2Q累計	13/3期 第2Q累計
営業活動によるキャッシュ･フロー	94	△1,501
投資活動によるキャッシュ･フロー	455	△136
財務活動によるキャッシュ･フロー	△448	△580
現金及び現金同等物に係る換算差額	△382	△163
現金及び現金同等物の増減	△280	△2,382
現金及び現金同等物の期末残高	8,696	10,352

営業CFの内訳

（単位：百万円）	12/3期 第2Q累計	13/3期 第2Q累計
税引前当期純利益	1,889	2,114
減価償却費	121	119
売上債権の増減額	△5,025	△4,792
たな卸資産増減額	△136	△210
仕入債務増減額	3,342	1,779
その他	541	185
小計	731	△804
利息･配当金受払	41	16
法人税等支払額	△678	△714
営業CF計	94	△1,501

○ 営業活動によるキャッシュ･フロー

売上債権の増加（営業CF：△）
仕入債務の増加（営業CF：＋）

○ 投資活動によるキャッシュ･フロー

長期貸付けによる支出（投資CF：△）

○ 財務活動によるキャッシュ･フロー

配当金の支払（財務CF：△）

通　期　業　績　予　想
2　0　1　3　年　3　月　期

2013年3月期　連結通期業績見込みのポイント

☆連結売上高

前期比増収を見込む

需要の伸長が続くスマートフォン等の携帯電話関連及びアミューズメント関連部材の拡販等に注力

海外売上高続伸を見込む

取引先の海外生産移管のさらなる進行、海外ネットワークの拡充展開で海外売上高が伸長

〈海外と国内の売上高伸長率及び額の前期比較〉　海外 +20.4%(+99億円)：　国内 +7.0%(+46億円)

☆売上総利益・営業利益・経常利益・当期純利益

各利益水準は、売上高の増加に伴っていずれも前期比増益を見込む

☆配当

1株あたり年間配当金は40円(中間15円決定・期末25円見込)を実施の予定。(連結配当性向30%)

☆今後の世界経済の動向

プラス要因：新興国の経済成長に下支えされた需要に期待、スマートフォン等情報機器端末の需要の伸長

⇒当社グループ：海外売上高の伸長に注力、中国を中心としたアジア地域での販売を拡大

マイナス要因：米国景気の低迷、欧州諸国の債務問題の影響等による個人消費の低迷

※中国反日デモによる日中間の関係悪化

来期以降は不透明であるが、現状のところ、当期における当社グループへの影響は軽微である見込み。

2013年3月期　連結業績予想

【通　期】

（単位：百万円）	12/3期 実　績	13/3期 予　想	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	115,417	130,000	＋14,583	＋12.6%
営業利益	4,081	4,450	＋369	＋9.0%
経常利益	4,081	4,300	＋219	＋5.4%
当期純利益	2,462	2,750	＋288	＋11.7%
連結EPS	120円29銭	134円32銭	14円03銭	＋11.7%
1株当たり年間配当金	40円00銭	40円00銭	±0円00銭	±0.0%

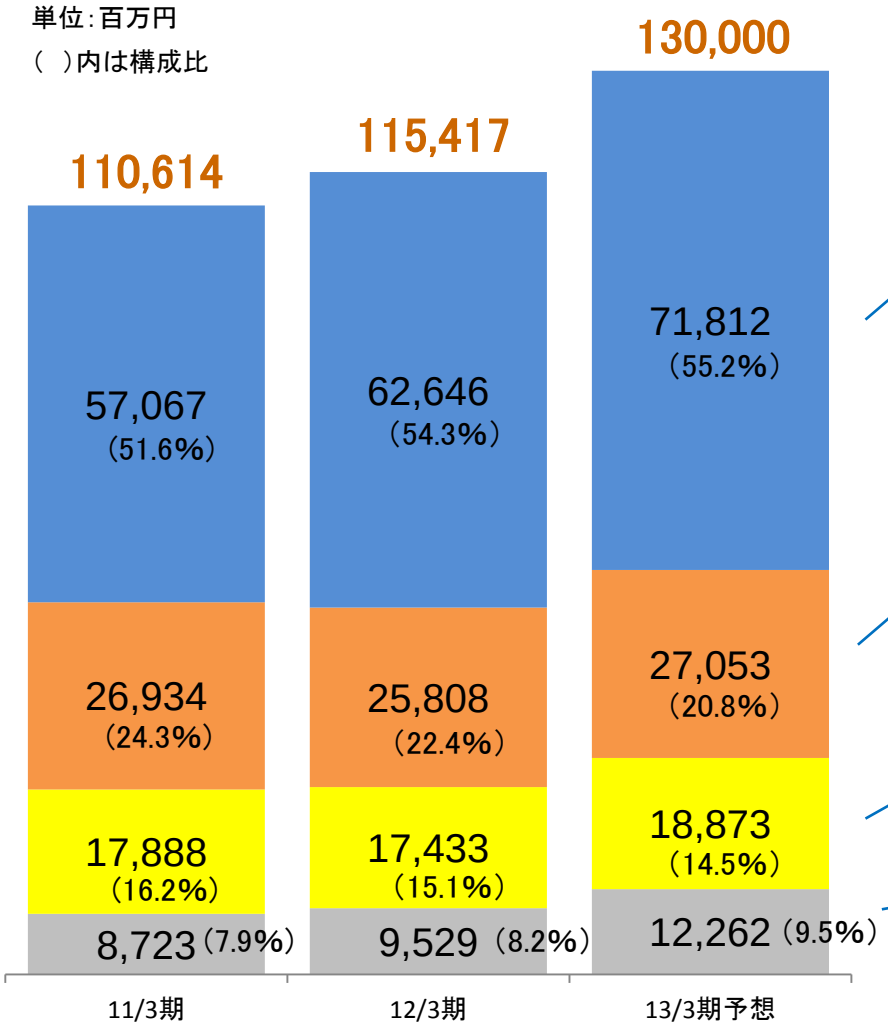
	12/3期	13/3期
【営業利益率】	3.5%	⇒ 3.4%
【経常利益率】	3.5%	⇒ 3.3%
【当期純利益率】	2.1%	⇒ 2.1%
【ＲＯＥ】	8.7%	⇒ 9.1%

【第2四半期連結累計期間】

（単位：百万円）	12/3期 実　績	13/3期 実　績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	58,259	63,812	＋5,553	＋9.5%
営業利益	2,197	2,289	＋92	＋4.1%
経常利益	2,080	2,203	＋123	＋5.9%
当期純利益	1,224	1,429	＋205	＋16.8%
連結EPS	59円79銭	69円82銭	10円03銭	＋16.8%
1株当たり中間配当金	15円00銭	15円00銭	±0円00銭	±0.0%

連結業績予想詳細　品目別売上高情報

スマートフォン等情報機器端末向けの「絶縁材料」「配線材料」「ディスプレイ部品・材料」、アミューズメント向け「ディスプレイ部品・材料」「機構部品」の増販を見込む。



◆ 電気材料　前年比　＋9,166百万円
- 半導体関連　＋87百万円
- 絶縁材料　＋2,741百万円
- 配線材料　＋3,474百万円
- ディスプレイ部品・材料　＋2,862百万円

◆ 電子部品　前年比　＋1,245百万円
- センサー部品　＋744百万円
- 電気部品　＋364百万円
- 光学部品　＋136百万円

◆ 機構部品　前年比　＋1,440百万円

◆ その他　前年比　＋2,733百万円

重点分野への部材拡販と調達代行ビジネスの強化

重点分野の連結売上高に占める割合

2012/3期　49.4%　→　2013/3期　51.5%

スマートフォン等情報機器端末向け

絶縁材料・配線材料及び光学フィルム等が増加

2012/3期	229億円	→	2013/3期	300億円

対連結売上高比率23.1%
（当初予想241億円）

調達代行ビジネス

化学・電子部品メーカーの日本向け等が増加

2012/3期	137億円	→	2013/3期	150億円

対連結売上高比率11.5%
（当初予想147億円）

ゲーム機器・アミューズメント向け

ゲーム機器向け絶縁テープ及びアミューズメント向け機構部品等が増加

2012/3期	106億円	→	2013/3期	120億円

対連結売上高比率9.2%
（当初予想106億円）

自動車関連向け

ハイブリッド車を中心とした各種部材が増加

2012/3期	95億円	→	2013/3期	100億円

対連結売上高比率7.7%
（当初予想100億円）

連結業績予想詳細　国内・海外売上高

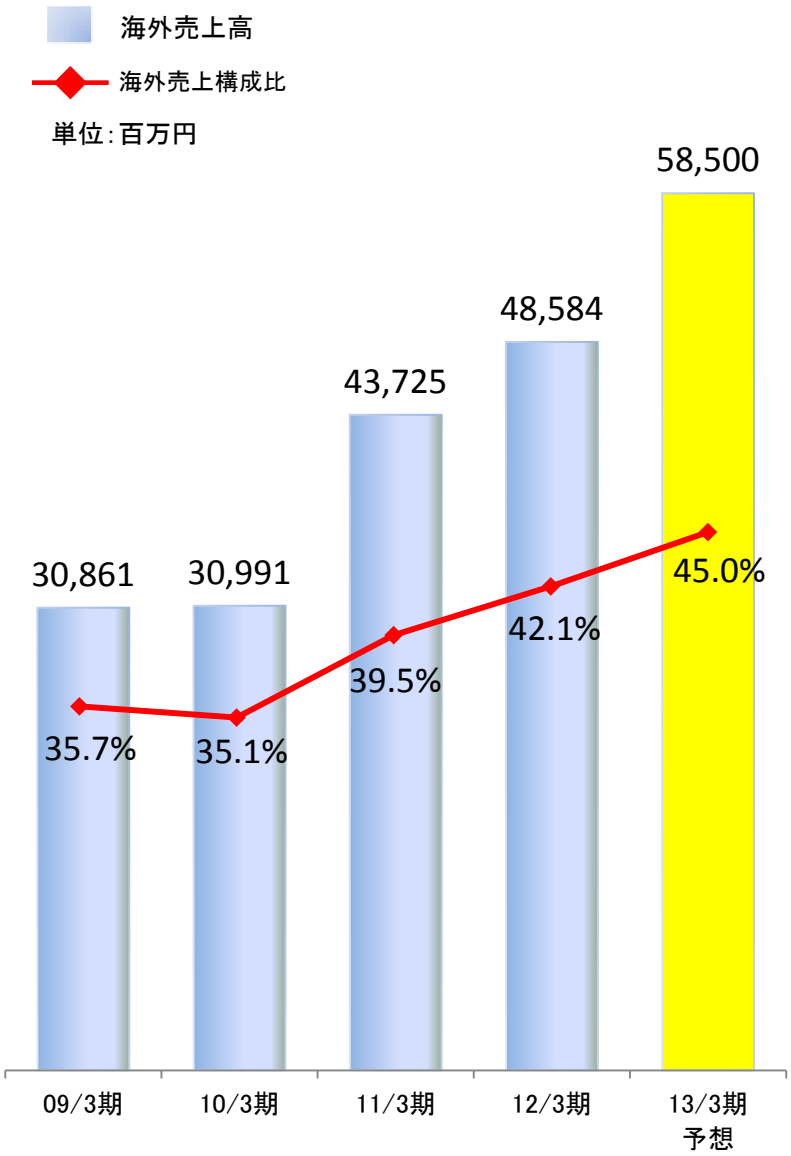
◆国内・海外売上区分

単位：百万円	2012/3期実績		2013/3期予想		増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
国内売上高	66,833	57.9%	71,500	55.0%	+7.0%
海外売上高	48,584	42.1%	58,500	45.0%	＋20.4%
中国(香港含む)	36,065	31.2%	37,700	29.0%	+4.5%
その他アジア	10,598	9.2%	18,800	14.5%	＋77.4%
その他	1,921	1.7%	2,000	1.5%	+4.1%
連結売上高合計	115,417	100.0%	130,000	100.0%	＋12.6%

◆海外売上高内　構成比

	2012/3期実績	2013/3期予想	増減
中国(香港含む)	74.2%	64.4%	▲9.8p
その他アジア	21.8%	32.1%	＋10.3p
その他	4.0%	3.4%	▲0.6p
海外売上高	100.0%	100.0%	―

◆海外売上高・売上構成比　推移



連結業績予想詳細　所在地別セグメント

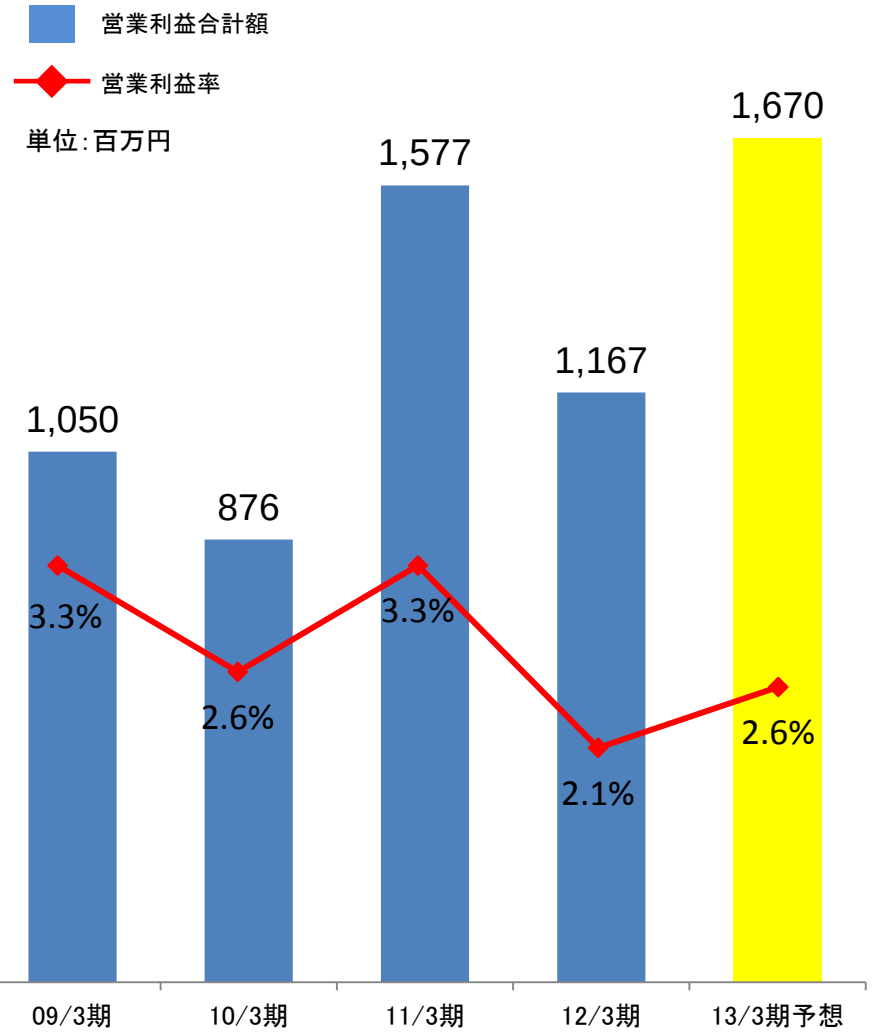
◆所在地別セグメント売上高

単位：百万円	2012/3期実績		2013/3期予想		増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本	93,276	63.0%	105,500	62.5%	+13.1%
日本国外	54,857	37.0%	63,200	37.5%	+15.2%
中国(香港含む)	39,919	26.9%	44,400	26.3%	+11.2%
その他アジア	12,822	8.7%	16,600	9.8%	+29.5%
欧米	2,115	1.4%	2,200	1.3%	+4.0%
消去又は全社	▲ 32,716	—	▲ 38,700	—	—

◆所在地別セグメント営業利益

単位：百万円	2012/3期実績		2013/3期予想		増減率
	営業利益	同利益率	営業利益	同利益率	
日本	2,509	2.7%	2,700	2.6%	7.6%
日本国外	1,167	2.1%	1,670	2.6%	43.0%
中国(香港含む)	1,128	2.8%	1,200	2.7%	6.3%
その他アジア	10	0.1%	400	2.4%	3,687.7%
欧米	28	1.3%	70	3.2%	146.6%
消去又は全社	404	—	80	—	—

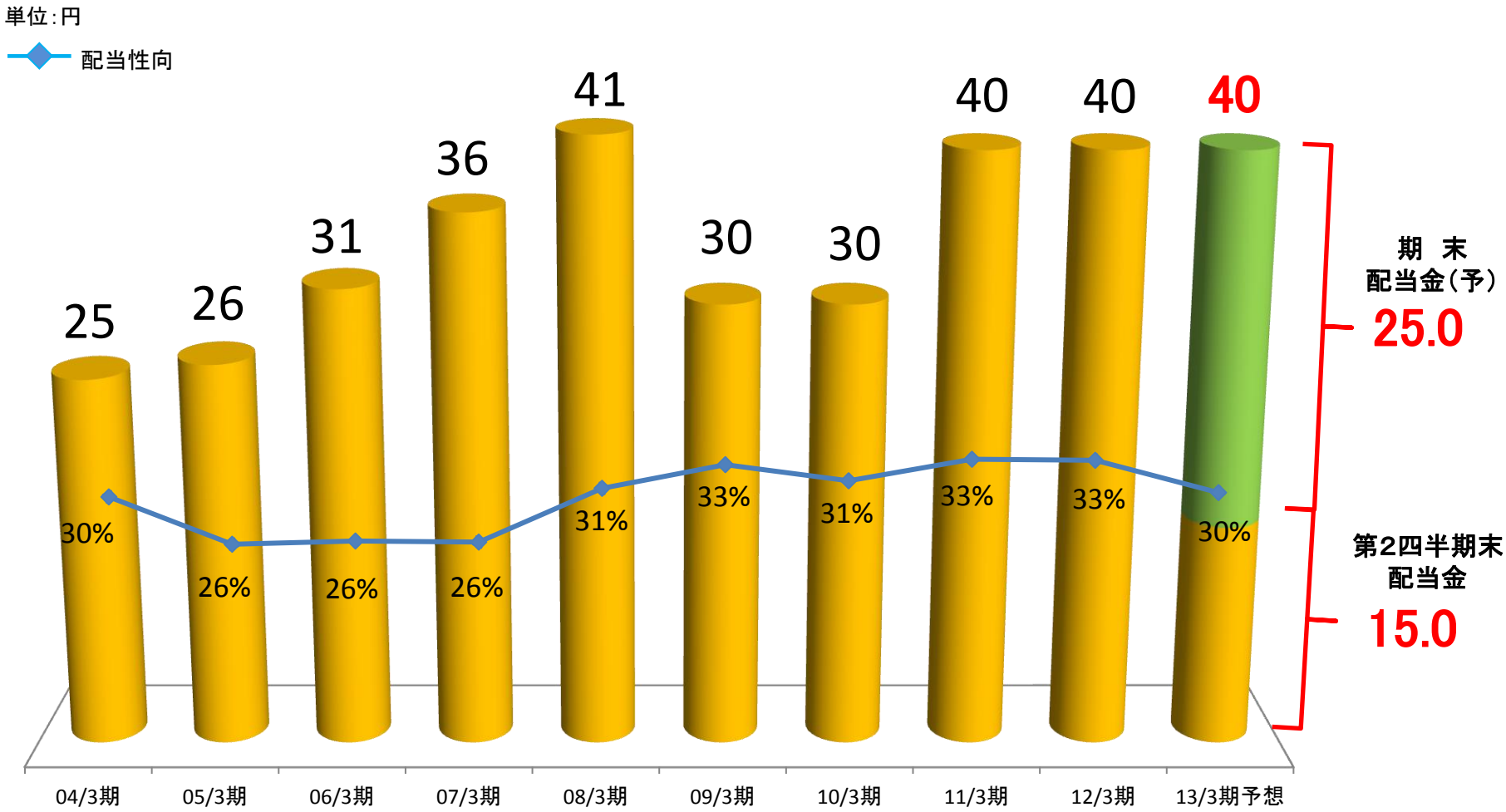
◆国外(中国・その他アジア・欧米)営業利益・同利益率　推移



配当推移

配当金は株主の皆様に対する利益還元の中心と考え、業績に応じた配当を行っています。

1株当たり年間配当金　推移



豊田通商との資本業務提携による
シナジー効果と今後の成長テーマ

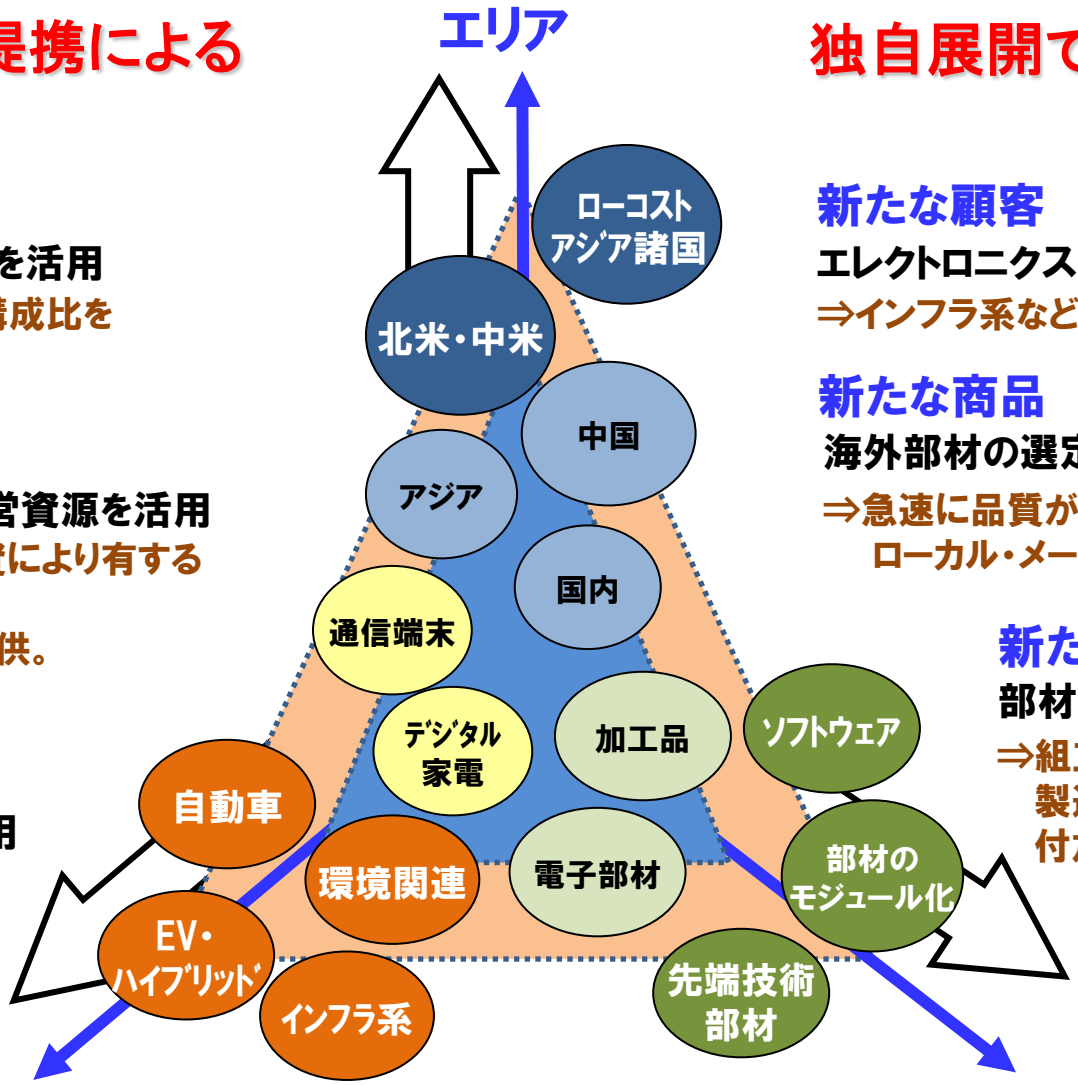
今 後 の 成 長 戦 略

豊田通商との提携による成長戦略

新たな顧客
豊田通商の営業基盤を活用
⇒自動車関連の売上構成比を20%にまで高める。

新たな事業
豊田通商が有する経営資源を活用
⇒豊田通商が先行投資により有する経営資源を活用した新たな付加価値を提供。

新たなエリア
豊田通商の有する海外ネットワークを活用
⇒単独進出でのコスト・リスクを低減。



独自展開での成長戦略

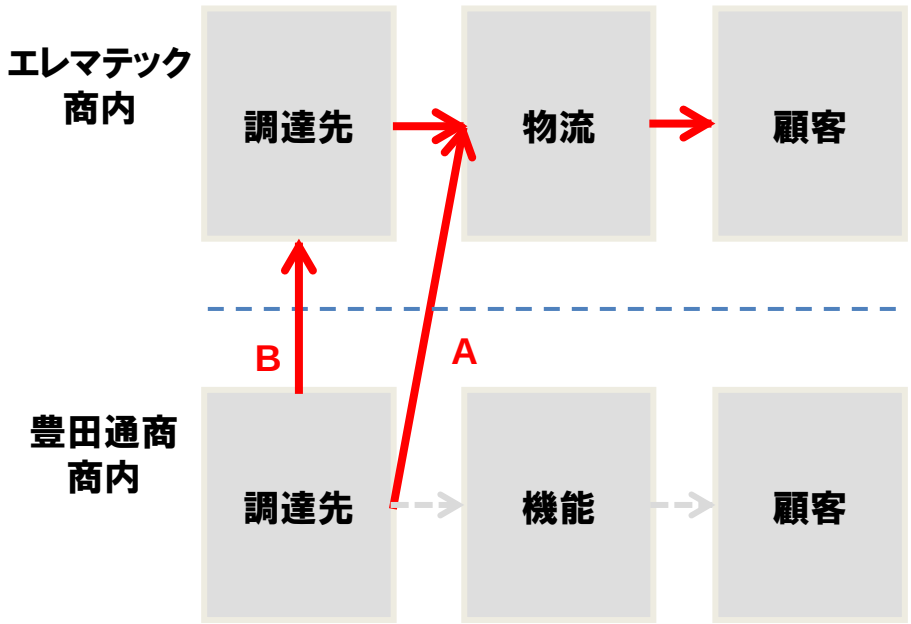
新たな顧客
エレクトロニクス・メーカーでも顧客拡大
⇒インフラ系など未開拓商圏・分野に注力

新たな商品
海外部材の選定・調達・供給
⇒急速に品質が向上している中国等ローカル・メーカーの部材販売

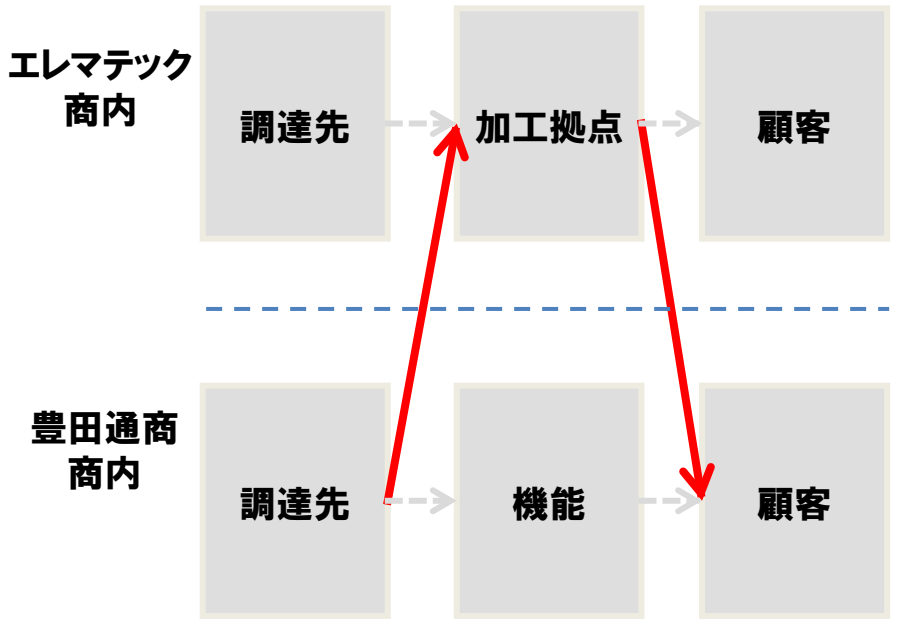
新たな付加価値
部材の組立・モジュール化
⇒組立工程全てのロボット化など、製造技術・工程の変化に対して付加価値を提供

バリューチェーンの組み換えイメージ

例1　A　豊田通商の調達先から商材を調達し、供給するケース
B　エレマテックの調達先が必要な材料を豊田通商の調達先から納入するケース



例2　豊田通商の商内においてエレマテックが提携する加工拠点を活用し、客先に商品を供給するケース



自動車戦略の一例

例：車載新システムへのデザインイン

豊田通商の強みを生かす

①Tier1メーカーの情報を早期に獲得

②エレクトロニクス化・差別化のニーズを獲得

③プレゼン機会の容易な獲得

- 高機能化
- 環境対応
- 安全／快適

- 加　飾
- 電池ユニット
- モーター
- インバーター
- カメラモジュール

両社の強みを生かす

①新ユニットへの材料・部品レベルでの提案

②サプライヤー・加工拠点の活用によるモジュール化提案

③人材交流による体制整備

シナジー創出「双方の強みの生かし方」

川上に強い豊田通商と川下に強いエレマテックにおいて相互補完の関係を構築

顧　客

顧　客

豊田通商株式会社

特徴：強い顧客グリップ。
川上の原材料メーカーを幅広く押さえている。

豊田通商の自動車系
コネクションを使って拡販

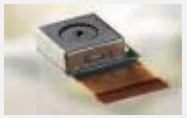
エレマテックが
調達できない原材料を
豊田通商が供給

原材料メーカー

elematec

特徴：4，600社の仕入先ラインカードにより、
顧客のあらゆるニーズに対応可能。

豊田通商で加工できない製品を
エレマテックから供給

組立メーカー	例：モジュール	
加工メーカー	例：成形	
二次材料メーカー	例：封止材	
原材料メーカー	例：特殊樹脂	

シナジー創出の進捗状況

当社を主管する化学品・エレクトロニクス本部のみならず、豊田通商のその他事業本部並びにトヨタグループ会社とのコラボレーションを実現

【営業シナジー】

国内

案件の絞込み
100件以上抽出

比較的早期にシナジー効果を創出できるクイックヒット案件を抽出

→

クイックヒット（計40件）

- 電子材料（15件）
- 電子部品（10件）
- その他事業本部（10件）
- トヨタTier1メーカー（5件）

海外

- 各拠点において相互に取引先を紹介中
- 下期よりASEANシナジー会議定期開催

【コストセーブ】

- 豊田通商との物品・サービスの共同購入
- 豊田通商の既存インフラの活用
- 豊田通商グループの既存機能活用

→ 主に3項目にてメリット追求

本日はご来臨賜り、
また長時間にわたりご静聴戴き、
まことにありがとうございました。

エレマテック株式会社
Elematec Corporation